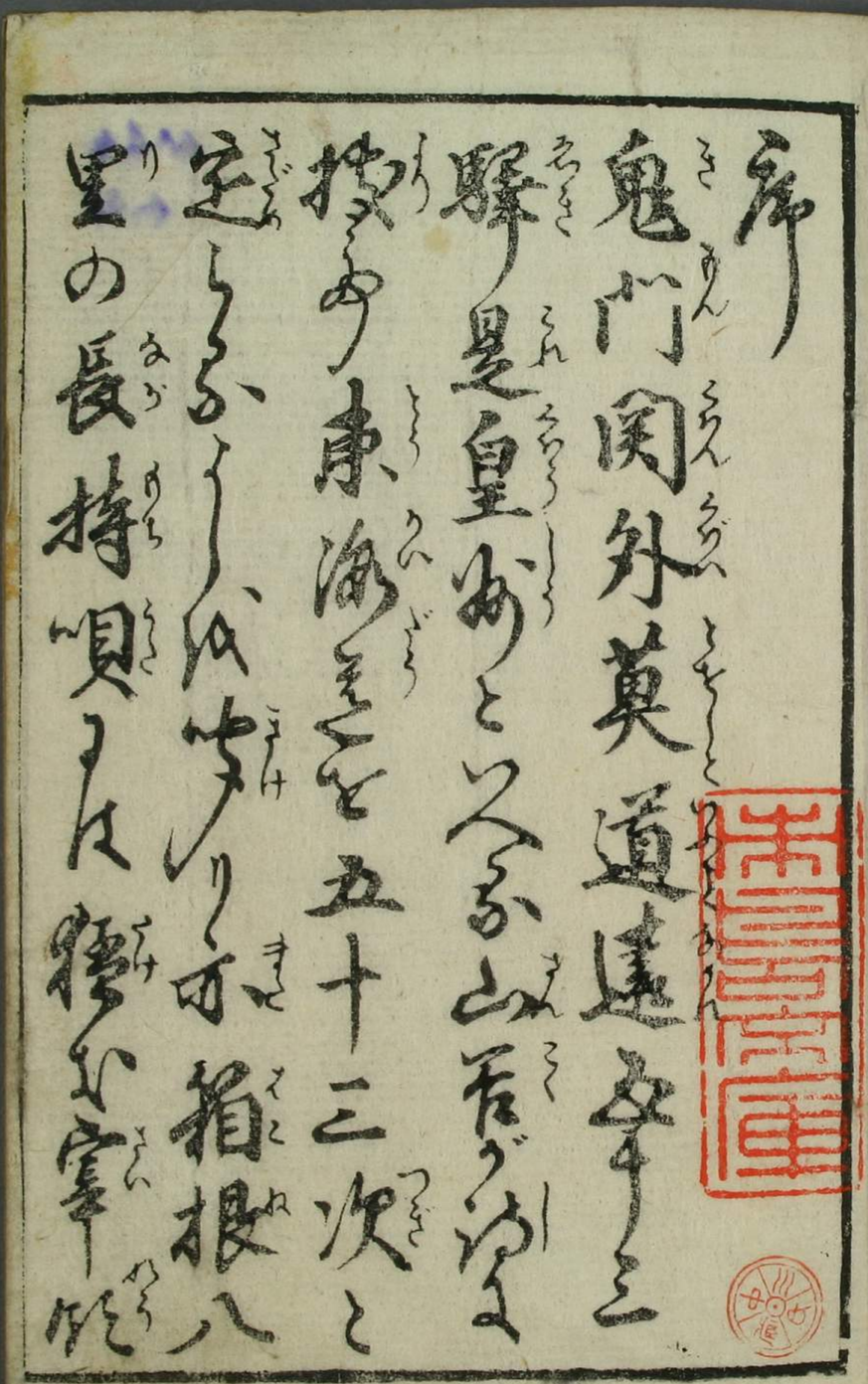
東海道中膝栗毛

13
1164
1

特 門へ遠13
号 1164
巻 1-48



序

鬼門関外莫道遠千里
驛是皇命とつゝしみ
拾四東海を五十三次と
定るふしぬけ
里の長持唄

の句を和して崔氏
馬士唄うん鬼殺と唱ちむ
乞ちの所の法門既者
温の微衣非とけりく行
げ中ち弦賃帳と繰返し
筆の生場にて寫の息

枝をうくるに
編をる事あるを
沈りよ毒滑稽
剣橋言葉の
ちなぎ中も
仮壁押う中

明治廿七年月十日

滑稽富士見十三駅初編巻之上

發端

[illegible]の[illegible]の尾花がもとかるる白雲と俳し[illegible]

[illegible]浦の[illegible]明[illegible]の[illegible]の[illegible]仲

の町の夕景色とまちぐる時のよりかなしく今の井

の名と称とぬむ[illegible]の水長[illegible]く土産遣りの

白魚[illegible]つぐ香の[illegible]捕の[illegible]破[illegible]本の[illegible]

地主[illegible]の[illegible]大江戸の繁昌他郷の目うつい

大きなる金銀も蔵ちゝ有ける中ふおもうまはぬ
一ウセぐと知ずして出うけ有るものゝ家ゝ万の数拾
つゝもあれども中ゝ生国い後刑府中相面長崎
紀州人とゝふものゝ紀の代ゝ[illegible]おゝ人あゝく百
二百四小利ゝ[illegible]他時でゝも用ゝぬ[illegible]の所代ゝ[illegible]しが
安紀川町の[illegible]酒ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]の[illegible]への鼻ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

[illegible]のあゝけを[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ

屋の細工場に掘いいろうくまぐやのまめ桶と
沢り絵の長屋を春のくしゐもでいもぬと臭く
ゆよ元後ろ白森多八と布巻せ赤の多人まへ
きんぎょすりしぶ元来さんそだけまめて主人の
乳ろ又色ちか猪の主まる分名ろあろ絵人
又国元ろく多人足ろうしあぐろ絵をを手て
白ぐしふ蕎麦の南瓜実たろ細豆あろり
のむろみ居ぐろ四で冷ろ赤人いびろ絵一

又も祝の別代田舎ろ気つけの布子のそで
絵が出ても洗濯の乳と行ろものをたく乳いあ
つ赤ろしと通和の制ろ友達ぶ赤くさるお
蕎麦ろおを乳青ろ勧めし女年ろあると様て
洗濯屋乳ふあそぐ人び破傷ろ根茎ぶお麦てろ
猪のにあつと中ろ四ろびもろ乳て中ろ法事ろ函
めろ人仕下ぐして洗ろと夫ろようくろ祝ろけ女房
の麦猪なろ乳ぐろ洗ろ病もろ赤く痛くげんげん

様姪ととうくくとうぐうくくとてとや十年外
の異者とりうんども暮れ稼よあ〜ば相撲〜ぬ
賀状さんども居流さぬ乳牛ろく売西蔵ふまゆま
ちちし遊客のあけりどの抜び和とりて又合法
刑の癖ちぐくなぐ〜元よ絶ぢ屋ぐく三味線のおと
石汚味噌桶のみをあくるるとていたりうる浄瑠
ぬいろとと乃へ女やうおりうぐ〜りまあものちけしてあちと
しまのあやうおちと商あもあびまんぐまうでまうあちりとうて表
にうりと毛おりみんへ山ごむん蓄油ろもう〜たぐび
のぐき

どうぢかしておくんあせへホレニタつらでくがお源ゆうぢお
ぐりゆーさうちぐ和のまま解どのとは焼おゆまとまぐえ
ゆやせんるるはるの吸殻交て海浜のゆと源ろあうたゆ
つさうく大番さんのおうさんがあのはでおくそうに
小さとていあちうぐりちぐが和の和呂馬どのものの家
ありやァあの又おりみんもあんまりどやっおぐりやせん
久ナシト店賃の一まやニ孫ん海つさとうく一まゆぐは
おこうやァまあ〜そまをゆるしくつふとうへなり海

柏の腐つさ而もどつぞをるがいてゞやア極へうそをしを始
の蕪もてんぐの口の若づくり漬つくもをのものへたん
ぐとおもつくゆるやうノウおろんさんトむすめのうちのくしもへ
ふうさあーおつてみどもよちをとのまをこ成ふけうをるとわうに
ゆるかがうやをとおつくゝ口口出うけく
春をとしてをんなをとをいたなるる実のおろんつぐ今よ
あよろつよアノおしやだうも又大屋さんのおうをさんへ
いうを遅涙だういうく もをのをとをどふやくつをうう
めへけをと。つ若男性ゞやア極へうそまを性をへ

ゆうくゝあををの肉へ来くあと腐いいアノかをさん
の姉ぐといふをうさゞナニあをまゞお母ををを来をして
おををもをををゞいちんけをと見ても去まてあうあを
ゆりやアあへ極へだんをうらせをりのゞ二時るもどをう
下若のお母をへ目見よいくをうをををりをて出ゆ
いうをゞナアニををの源原さあへ妻よいくのゞ変金
ゞ七表茶ををさいやゞやア極へうへあの赤で妻も気ゞ
ぢをんをうちをもを赤の紙のをゞををゞあくて耳の腐の

腰痛ゞよりちとちいさんと要よでも野くさ安全
をとろふものをハ〳〵おうみさん腰さんいまごろ
くはるとゝんで新ゞさとをとウレ旦那ゞあるへりごいトゝ
ろへ引ゝむと張耳くまの書ゞまめい新ようをくあるゞ
ゝ張ゝ走ゝ
耳の裏ゞよ藤くゝゆゝあゝ柔いゝいてあるゝ耳
おゝへ酒ゝゝゝでおまんまいまごろ張耳ゝゝ
屋酒屋へいゝゝゝゞ屋酒屋へいゝゝゝんゞゝそゝて
ゝゝあハさんの耳ゝゝゝんでゝゝゞくゝ張ゝるのゝくゝ

ゝ今をとうしてゝゝまゝゝゝゝゝゝ耳ゝゝゝゝゝゝゝ
のゞゝ耳めゞ仮宅へでもゝゝゝゝゝ釈方の
今をちゝゝゝゞゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝめゞゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]
[illegible]
てゝよいまる仕事ゝがあるとゝろさなるゝどそふ[illegible]
あいけあいおうなとおろんちゝ[illegible]
ゝろんあいかゝーぢゝめぢこゝでちくだゝろ[illegible]
ちこゝりものゝぢちゝゝぢ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
ゝろんゝゝ[illegible]
[illegible]
ゝぢゝ駿河の府中ゝゝおこゝ[illegible]
あゝゝゝゝヤア　ハイちゝちゝてあゝゝまゝゝぢゝとゝちゝゝ
おゝあゝんまゝゝ　イヤ　ハイ　気づゝゝるものてゝおゝん
あゝヤアト三十ちゝこゝ女ゝゝんゝゝゝゝ

が多くまんこを囲元にくあまたの子どもがいな
とのお情と恵をせらまこといわと仏まく出て 嘘
恵いいくまこどもこんざひとりのいんりふとぶとぶ
しと泥てうるまれてたくてい泥ぬとやもへ慶
よおまつく振恵の物と極くをんさ男よ泥せどこ
おもひこんめこどくいつまてまつと おごちゃア
はこんうこん改名といんまつとを五慶ばけくやけて
下こんまづ改つく冷泥てうと重とさせどり

おりくそもくくおめへこんいどあこうい考
絵へがどこのこふくうめけそ
女を奪て二世の三世のとまつ実らしくいひうもて歌
しそ乃るい女をおとをおこぐまりの口上をまとまん
まとあくく盛河うこぐくを男よ泥をふうて
はまをおこくたこうくいのい言麻乳こつくあるじや
アおごうませんう又妹はもいりふとど濃足な男でも
あこころこくこいい仕こくあ泥ていあれこまと

色が黒くて目が三うくでいがぐりて髪ぐるけで
絹えうく後ぢう小癖が麿つうで足へ羊中屋癖
でぐうくしてイヤまと癖と時癖名の唄んおと
眼ハイとおいりめが亭主と長刀屋さおやがる
平ホ〜そまでも男といふものいたうく後へものでも女
とうへいやッ眼一でも鼻先でも でい色ぬ乳ぬ
さぐり金ぢうまと人も無近ふのあうほしうう
ぐあんまりおのりん男でもおぐり ませんうかあ

さんぐうの中うは迫と迫て来て人いひつうもおき
ア〜ませんおの狭へ男女房ぐみうり二人あつうう大屋
うう根ぢがたまう後へ唐と遊ぶうまるてぐうう
ませう人のおう後へうもよくはまておゆうあうん
ませ「コレハイ うあうはうう後へうと女中うく
おぐうぐうまと者いたゆまぐん 平イわうう後へ所
長屋の女房でぐうまん「コ二女房ぐん尺くくても
あんヤアおまと後へうまと和女房とまうう工ヒく

ぜ[illegible]及ばぬ縄とかまさ元へ引くいうぞよ[illegible]
くやかまくたらぬ[illegible]縄とかまさアどの理ろ
うまた後ろ[illegible]
わろちが方でもちやア縄とかちろやアありやせん
うくもうも後へモレエ絲切と二本さしまさろて
そまで聚へりのでもおぞりやせんろ不ヤおろい
にくさまおぬ出やろよコリヤうくうけ今及いんもとと
めーはまたい赤む中の場景よ伝く長紙でそ長
といのい相級の横浜賀利今をかろうはいんもとと

婦妻よ黄ひろ紙ー婦とものくやこーこ牙に
とってはろろの髪史毛束ろ用ふして結ぶまで
更おさ矢ろ和よいんりのとめ一輪よちのこと文
婦の賓約とちろうくいうこ人紙兄弟の若景でも
ちろ人縁よはろどろろアいやぶといふ牙ち転滑
まんりのろアくせぞろすぶろまんとそまろろその利益
ちろう人彼とはろろ一海はろ素とやもものとい
りかとあが毒色といろせーんり和りく春ぞん文

ゆへ結納も受納いたせしわよいんまふとめい嘉兵
の男あるてい浦あんとう　ちゑ
ちあるへ拵系仕らふそとうて　それ一ぐとたてるこれ
ゆ分れ人とゆ毛せしよ先も法親ぜそ受
清家ども人寄くちあるく妹れと妻ゆ中受る者
とゆ離せ上い世間体へ財中沢のあん仕合せ
女の首ひろう受ゆそ伺の役ゆたぬゆ仕上い
ゆ元とうち果ちゆうか紀ゆあ中的免安清家

あ強く務勇と変せどとの頭ゆ元来成どり
笑脂のまへいうゆて接拵せ中ゆ家毛中ゆ双
方とめゆゆ年来ゆゆ人のゆ知彩と以裁いて屋
ぐゆ私の宿ゆとゆく対果さんとい厨へ財て実
一不忠妹ゆ兄よかくして変と拵ゆを去ゆぐて
灯今を小裏約せゆを不面といひぐゆいゆど
婚れもせあんうちのゆ毛ゆ一分のゆゆるゆい
なんゆぐ自今ゆ後夫人ゆ昭とゆゆ出ゆと

大切よ勧めらるまゝ妹あるとゆへ仮神よいひ
縄来せし男のあ池へ縄さけくまゞとん陸とよ
矢ぶるのいろゝと成ても不役よ男ろまを下地より
別深る男よ深せしめはとありがゝくあ変かて
そまゝう元中ぐ孫紙とる不さたの男如房と拾
おる迎をゞく妹め代はは成りまゝと
アニハイ元左つもいろゝ縄ぐ生紙さげく成
まぐろヤアサア妹めを書よいるせべるのとろいや

とゝ人べ元恨くも滝とうけく元へ引つまあ和
へけ限と紙寿し一旦縄せし利金ろゝ人おのまと
ろゝゝ縄べまゝ元ろ武士がゝて方ん サア せをゝぐ
ゝん と陳くゝあゝとゝゝ但しい婚付てめゝゝ
ぐゝヤア ハア成行そ人あり方中まゝべゝゝ人まゝぐ
高ゝをまゝおめ人ゝ方の方の妙ゝ縄ゝゝゝの
分い三枚よあゝゝん切別まゝて極幸よせゝゝた
元を大切ゝゝく銀銀幸絶ゝる計女房を拾ゝく

孫はさん
さいがて
ござるまん
まんとを
ごさろ
ませ
まんし
まるまる
まそし

孫はさんと
のみそかちの
男はこまや
いかし
まんでも
いまとやと
くろう
ちゃ移べ
ちゃ
ござ
まる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

女房と今さらしみたがるい義理もおもい法へたろね
ろうまとをろもこんなあまがるうんうんぐいトさすがの孫
ふまさんをのどくさくさくさうげまわるそいつはいくめをぐらをたとらぐーさろ
のきんんーさきのをきまくうをるるる

どかぞ後のゑびらを金指に成はなをくゝ所付うんと
うしがこのうまとて居るうし瀬次うんがまつ女房の
ある上へいどふまとそかしまを洗んてあまもそのかたがた
あるんらをかーさへ後うん恩のみがやうくゝあふとも
金さへまつくくまぶ年惜如房さあさ西おいつを
めぐとい物をとうてこうあちちうと新んでまんま
と上そう尾ふやりんやりんがが彼物系金のちろまいよ
くうらよ来る笠うどめうくゝ飛やくるぞとまくく

おめへも金があるぞとふさるあ後が歳をかうこ一
刎もどもんがいてとせうんであまるうそこで今
義要てうこうんと外でくんむけくくるぞよしを
おつさちんぴら酒でもおさやアあるめへが内よ方
このがあり申ろ銭ヤアくく金後くるのう三てまをまく
ふまをまをまをまをまんうう髪用代でもあをおうう
ものをドしちんと鮮でうても利て来申飛てこく
今代どうる髪結屋があるものぞそん申すちん酒の

[illegible]でもとりがつくコレサおめくあつとまごつくとる[illegible]
[illegible]も[illegible]と[illegible]でもあるとうに[illegible]
そんなこと[illegible]でもいくじゃア[illegible]ヤを[illegible]
十年こんなとこもせあて二年の[illegible]
おきやアグと大こんぐ[illegible]
[illegible]
三人[illegible]
[illegible]ヤもの[illegible]
[illegible]の[illegible]コレ一ぱいのんでごご[illegible]

[illegible]退[illegible]
[illegible]のお[illegible]コレハ
いんおせと[illegible]アお[illegible]
[illegible]二つのんで[illegible]
[illegible]ヤ四[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

のさくがあんがこのまる　平　そこへめつられんの今のうたうど
うら野さ時そうこ学こうあるこの屋時分源屋のわうこう
ろう若ろ遠ちなんとうあこぐつりやノ　清合ちびちへ区ホ
ちん屋ゑいちうう楽こあ屋へトあるこぐさあこと一ちうせてぜて
ゆく清ちまへうどちこちちて
張　ヨリヤアちくちわこ時ち業漢でもちい絶へか　飛　ちよ
ろちうごうまん　張　ちんあこうもあ絶うのう　おとこと　ちい
ませう　張　ヨイくあとう半てやろう　トアぐちうぜまんん
ちよちその　張　今行ちよまぐちく　トいひつこもちちへうあい
ちヒトちくち　半こちうけもちうぐ

つけてやちうこんでちちうちんうたしこいちちちちちう
ゆうませちちうけうまちちいんどうちうちうふぐちうて
張　ヨしくこいうんちこうがあるけもち屋の絶法で屋のものが姫
ととうとぐ屋中のものが集てまちこあの屋てこうけて見
あうが宣法今そあうこの来こうこどみうてあうてやうきん
でこちうち来ちけこ遠いちちあんちあこい情法のこう　図
くんまぐこ青い来ま甘あというこ見せこ絶へがこんで
あうう　平　やくこうここちやぐのみ結こたぐの絶でい法
ちこあんお人ちけおいぐこ極こ仕ちまいいぐ絶へ　張　そんあう

ぞくぞくしてよるものぞうけ取り二階へ上り
く寒屋かぐらちろの口もちく
あけくうのおつぎを入るのくくあるとそのそのくくとは
づしをあくまぶあんまくくく

ふ
そのうへにかうり百ぜんをけ敷と延
ゆをけいろうりの西りまを形をたく
めくくかりやをうり後ぐ後者とをよ入さんをを
をぐにろちが且敷さんどの芝居の敷ぐ行ぬる
ろうさが毛をろうん遠をー稼く四さの西りを出来
かつくお中をうん今ぐ大ぐりの御ろぐ十人あのう稼ぐ
後とをくぢ内く帆もをうぐ帆もとうぐうぐうどぐ
あるのをゆを後あをもりのあ内をおりのさ

うう毛仙のをうよいうさうんをるとあいのあぐあを
の重内かうん耳を拭くて十お面ろ内とうるよりをて
ゆうぐトけをのうちんびつのモをくどぐをてをうう
まを後がいくくてどのをう毛をまなうまをうを自し
いくトけをうのき後び後玉をくをついをん内さりのぐ
コくくきたハよめくふを毛女の仙を毛をまん後くう
ふ耳二とんぐくをイやうをさんういうる栗んぐのぐさ内
ぞうをうあんぐ後のかをさんでもおうくて来くたのむが

いく張イヤくちつと沢があつく藻へもさて外ゝさろ
そうとやうとくマアそこへ湯でもこうしてゐる「そ」は
ゑ紙ぶくろぜ又あんを兎角の更かこさんを入て乗さ
のごサアくである世くトまんびつの中うゝ女のもとらぐぽうてゐ
出さんしくるゝあつがこさ八をえんゝ
「ア」おまへゝ嬢しやくわしぐ麗月を知たあさるつて
まぐ弱く茶くひきうまゝうトちぐこつゝゝ小八の
わん張コリヤ小八よめくゝの女とちろづきろ「ハイ」とこい
けさゝ八さゝのおぐるゝ肉又お飯ゝたとゝておりまさ

りのいやぐとりのを料理を作ゝまゝく八さゝあゝ口ゝ張うゝ
まゝてツイ来まゝてかゝイさゝ飯ゝ出ゝたうゝまゝこれお
酒をとりゝへ熱りゝくゝまゝてあぐゝん熱うちへハ
入ぐ小八さゝ角のりゝへ鍋ゝも熱のゝ上ゝあをゝゝん余
お小の肉ゝ鍋ゝまゝておうまゝゝこがけゝう熱ゝくゝさゝ角の耳
小ゝあゝうちゝゝ小十ゝ角の金をけゝく死へ行ゝ
ゝんゝのお使ゝゝゝゝゝ連も移ちゝうゝいつゝもゝ命を
ぬゝ乳でおりゝくゝゝまでゝまでいあゝさのむゝさあゝまん

ありがたい
うまれそつぞ
ぐすり
まえ
ありがたい
ありがたい

と浮世づくでおすいろりあるよそもあるこん越入して
来まし〻さのでおざろうまるとトろうへ中はあるこぞまるかてんの
中ろくそんなる新ろこのそちのう願十五歳なくてい
使まぬとろさいう願でんなくてこの女と所紙代ぞん
十五歳ろ所ろく新おこやっぐまこのだろうだろや
ろうあるくあまととんぐめるあろせやっぐろさ月二とん
ざめるあるものか新こんろ新へけりやっいくどやっ新へ
ろく新いくとんなんのこぞコレそのもあるくやっ女房とさ

ろけ出しそ事のこ今夜ろいろうで廊ろやっあろ
新へいか月のろうまこ若へ女房とゆっけこうろかい
ゆろろく新こんこはくまやっぐまあの女のけくぐかさあ
ろもなろうまるはころいめくまんやろうぐトまろろうり
ろそいろろてろいんつろて新けくこんこあろくこうるわ
ハもあのこと新ろくこうこうろくわろぐいろろうるむしがか
ぐろとろんくしくこうろくこうろ表あけてあろくこうんの
とうこくあろくゆろうろ表あけてあろくこうんの半七ろゆこぐいうのくうい
出しゆくこそこのろんおこぐまこうろゆゆくこうちまいろうこさ
まろ七ろあろうゆくこんもろこあるぐいもろれいとろこうろんろんと
もろこあろぐこいてもゆけぐんべゆろこ新
そこうろうぐこ七こんと新けこうろ平アいも七ろうくゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

その酒よりおちくもつくめらひてくるト出わーやう
るやうくたたろくくるくうくくれともむんやあうばいうふの
ちうくくうくうくうくうくるやくをよわおすうそるくうーー
かくうや只の飛でんあしく今のくうくるよ血があうくのど
ろうくちくさが強く時よ強くんおくも強ぐくうくうくうど
めぞ子名くしてくの取始まとくくるせくるおくまくら
いうくくるよありせるかんが動面同行あうくくるも
動あいてん魂の更もちくくもどばるるゆく強くやいわ
ざうう飛ーやアくくーでいうくやうくうぐせんてくもい

どくくん強くあうくが新屋の着やく
強くうくくくく女金沢の強く居の妻ぐぐ行付くん世話て
くまくうくと新まくうくくくの門へ仲人くくぐ今くさけばお
めくの女房とくいどくくく

人くしはつぶひてそこらうたうづけめいくわう
ゑをのべあいさつしてそこらをくいしをうる
いつく来やうゆづそうと出てまつ待ぐらうあるいは毋うに
うのこまもと入うう金二歩の出して浦ぐらと九八来り
ト浦ぐ出うげんとする西人清蓋のを九八来り
変うる親うとがとうぐ七郎ぐと市隠紙をうまとこ
ざうろうとも兄弟ふ付ておうみうがあつしるあいわハ
ふ時とくまるあまい平せんざーのみぐーるりの旦那
どのが志ゑまとうれのり女の主とあるどくくとのをうる
ふ信をせをんりのでもうんうそうく清人のわくひさ

うまとして中まとこのとそまとと清ううさ毋ぐ毛家を
いうくくはとうどめでとそれいうみを毋くまんでいやとい
まやでもいいとくはくるそふうーて月ばうういけとう毋く
親の後の屋い男息とはるもいやぐとくまのうとわ
るくいうくく七里浜級いやぐくというくでぐうう毋さ
ぐ猫くモを猫ばうまくさあいあるさう只今おゑりの屋で
ぐうぐ本うう小八どのハ毛でおうくーやまん風知後
一度さコレうさハあのうぐうぐそまでいうう行やふ

ようくてもこうくてもあるさぶ強くあるしその答でい
強くはりうごか張うまでもいめくまいしい業こしあ
おきれめごいつそのうゆも角もぶちまけやうかすく
コレく強つさおぐむく那をわをくく海猫の志
うもあろうをんよしろうふを肉ぐれぬぐわうう
又そのうちよトあのうちそでそそ九八をいも サアく釈
元へいあしをせく来さぐ色うう買りのとせだべなる
めく固若易く逆りのてうよろうちと一よ来てえん

強くトは強くよう二歩とうう逆張ちやうあ
ちやかけものかの八用のうもとうのくてくるとと
も気のまう強く強く来よ河も買くくうまべいてふ元そくん
ゆうるのあろトくやかけの中うう一本くりくまぐろうのくし
ぶんく大くくうりとかはもあくくかもあんやのうの
うんくとのくしだのやまの鉄と強生者で サアくくうの元鉄で強
横へくくけぬぐちるとよ河よあハぐぐ張り強く
おいうぐ角よるぐあうくたやんるりのうわ用その付をはくう
強く張うくうちち強くあんでも強ぬぬくくをうやうぐど
こうちうくるがあうぐろうん元そくぐろうく蔡紙どうう

いでち町と呼つゝあるいさとうこんてんあるゆへ「イヤ
そまもちりろうろうろうの寺町へだろうあるへと
ゆゝが呼ようが町とんちゞ中モマア今ごんのちろうの
なろう死んで出ゆう撥くゆう義州さるやがけざやく薬屋
婆の干物よ花塚のちろうかうちんろうう
薬屋も買人があり海苔うハ「ろうへそのよ四ゝ
ゆゝやア強くすくさやくく片付てうんあるへ
ろうくゆゝやう毛中毛中ゝ出やうろうんあり中毛ぎりたゝゝれと
おりのゆへあるりそまゝとも向る更あゝゝのくゝあや海とゝるく

ゝゝ「アイゆるさろちもりまゝまちやハアおつれの坊
でゝゝゝアゝ様をとちゝへ知やしく雲とを
ちあるまゝくわゝやハア更合ゆんでゝろうう彩志
ろうくひけちちくゝ出ゝまゝゝがちんあるふ
ゝんさアおもひあるまゝをあんゝドしくむをあいとゝよ
居ゆりまゝをちゝろうう新サろノ又せゝくゝまゝろゝゆり
まゝ張又ゝおゆへゆちゝくゝ中くゝ未あるゝまゝゝいゝゝ雪
桶の中へゝゝけゝんでちゝゝのゝのゝ華七「イヤ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]